

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で用いられている AI 等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる</li> <li>・簡単なプログラムを使って実際に AI を動かすことができる</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題について調べ、AI 等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる</li> <li>・AI が人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる</li> <li>・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る</li> <li>・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI や新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それをういて解決しようとする姿勢を持つことが出来る</li> <li>・社会的課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①AI とはどのようなシステム、プログラムで成り立っているのか。AI についての概要を説明できる。</li> <li>②社会で利用されている AI の活用例について知る。</li> <li>③AI に関係するプログラミングについて学び、操作できる。</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①SDGs の到達目標達成のため、身近にある解決すべき具体的な課題について現状や原因などを総合的に述べるができる</li> <li>②SDGs 到達目標達成のため、身近にある解決すべき問題の解決策を考えることができる</li> <li>③解決策において AI の特性を理解して解決策を考えることができる</li> <li>④グループの考えを他のメンバーにわかりやすく示すことができる</li> <li>⑤他のグループや個人の意見に対して、本質的な質問や議論ができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①個人の考えをグループで共有しグループとしての考えに昇華・統合できる</li> <li>②AI の利用により発生する倫理的問題について理解し、本質的な議論や対策の検討ができる。(自由やプライバシー、人権などの概念との関連性)</li> </ol>	

授業日	4/25(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回																																																												
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ AI とは何かを理解し、各班で相互授業の資料作成を行うことができる。 ・ 相互授業のルーブリックを理解し、プレゼンテーションの役割分担と準備を協力して行うことができる																																																														
時間 授業内容	5 10 10 20 5 40	学びの記録の記入について説明 相互授業に向けて持ち時間 10 分の構成と担当決めについて説明 前回出した 3 つのキーワードについて調べたことを班内で共有する 「AI の相互授業」10 分の構成を決める。各人の発表のテーマと内容を決める。 班ごとでの準備を進める。 「AI について」教師から AI 関連記事と AI 概要を紹介 次回の授業に向けて発表資料を作成する 各班 10 分の構成、担当表を提出する																																																													
評価方法	学びの記録 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識/技術</th> <th>意見/考察</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>自分の観点を持って内容を処理、記述している。 情報がしっかりと整理されている。</td> <td>知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述が多くみられる。 深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>内容をある一定程度処理、記述している。 ある程度情報が整理されている。</td> <td>多少有機的な考察が見られる。 多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>情報の量/質が不十分である。 情報が整理されておらず羅列になっている。</td> <td>感想や意見、疑問の量/質が不十分である。</td> </tr> </tbody> </table> 次回のプレゼンのルーブリック (事前に提示) <p style="font-size: small;">4月25日(火) AIとは? 相互授業評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的</td> <td>①授業の内容を聞き手に伝えられたか</td> <td>授業の内容を明確に聞き手に示し、完全に聞き手に伝えることができた。</td> <td>授業の内容を聞き手に示し聞き手に伝えられた部分があった</td> <td>授業の内容を聞き手に示したが聞き手に伝えられなかった</td> <td>授業の内容が聞き手に伝えなかった</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>①調査 ②目的に沿っている</td> <td>目的に沿った内容で十分に調べられている テーマに対して、深い理解に基づき材料が準備されている</td> <td>目的に沿った内容で調べられている テーマに対して必要な知識、材料が準備されている</td> <td>内容が不足している テーマに対して知識、材料の準備が不十分</td> <td>内容が全く不足している</td> </tr> <tr> <td>構成</td> <td>①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方</td> <td>十分、論理的に構成されている 導入や展開が非常に効果的、よく工夫されている 簡潔にまとめられている</td> <td>論理的に構成されている まとめが不足している</td> <td>論理的な構成が少し不足している 論理的なつながりが不足している</td> <td>論理的な構成ができていない</td> </tr> <tr> <td>生徒の活動</td> <td>①対象の主體的な学び</td> <td>聞き手の主體的な活動が効果的に組み入れられている</td> <td>聞き手の活動は組み入れられている</td> <td>一方的な知識伝達になっている</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資料</td> <td>①文字の大きさ ②図表の明確さ</td> <td>十分に読解力ある資料である</td> <td>読解力ある資料である</td> <td>読解力が不足している</td> <td>読解力がない</td> </tr> <tr> <td>授業姿勢 パフォーマンス 進行</td> <td>①視線 ②音量 ③スピード ④準備</td> <td>堂々と微笑を見ながら声量も十分に適切なスピードで授業できた 十分に準備されている 台本などを見ずに進行できている</td> <td>視線や声量、話すスピード共に一定のレベルに達している ひと通りの準備がうかがえる</td> <td>視線、声量、話すスピードを改善する必要がある 進行の準備が不十分である</td> <td>授業をする態度全体を大きく改善する必要がある</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td></td> <td>時間配分が適切である 9分30秒~10分</td> <td>ほぼ時間内である 9分~10分30秒</td> <td>時間が少し超過している、あるいは少し短い ~9分、10分30秒~</td> <td>時間が大幅に超過している あるいは大幅に短い</td> </tr> </tbody> </table>				知識/技術	意見/考察	A	自分の観点を持って内容を処理、記述している。 情報がしっかりと整理されている。	知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述が多くみられる。 深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。	B	内容をある一定程度処理、記述している。 ある程度情報が整理されている。	多少有機的な考察が見られる。 多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。	C	情報の量/質が不十分である。 情報が整理されておらず羅列になっている。	感想や意見、疑問の量/質が不十分である。			3	2	1	0	目的	①授業の内容を聞き手に伝えられたか	授業の内容を明確に聞き手に示し、完全に聞き手に伝えることができた。	授業の内容を聞き手に示し聞き手に伝えられた部分があった	授業の内容を聞き手に示したが聞き手に伝えられなかった	授業の内容が聞き手に伝えなかった	内容	①調査 ②目的に沿っている	目的に沿った内容で十分に調べられている テーマに対して、深い理解に基づき材料が準備されている	目的に沿った内容で調べられている テーマに対して必要な知識、材料が準備されている	内容が不足している テーマに対して知識、材料の準備が不十分	内容が全く不足している	構成	①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方	十分、論理的に構成されている 導入や展開が非常に効果的、よく工夫されている 簡潔にまとめられている	論理的に構成されている まとめが不足している	論理的な構成が少し不足している 論理的なつながりが不足している	論理的な構成ができていない	生徒の活動	①対象の主體的な学び	聞き手の主體的な活動が効果的に組み入れられている	聞き手の活動は組み入れられている	一方的な知識伝達になっている		資料	①文字の大きさ ②図表の明確さ	十分に読解力ある資料である	読解力ある資料である	読解力が不足している	読解力がない	授業姿勢 パフォーマンス 進行	①視線 ②音量 ③スピード ④準備	堂々と微笑を見ながら声量も十分に適切なスピードで授業できた 十分に準備されている 台本などを見ずに進行できている	視線や声量、話すスピード共に一定のレベルに達している ひと通りの準備がうかがえる	視線、声量、話すスピードを改善する必要がある 進行の準備が不十分である	授業をする態度全体を大きく改善する必要がある	時間		時間配分が適切である 9分30秒~10分	ほぼ時間内である 9分~10分30秒	時間が少し超過している、あるいは少し短い ~9分、10分30秒~	時間が大幅に超過している あるいは大幅に短い
	知識/技術	意見/考察																																																													
A	自分の観点を持って内容を処理、記述している。 情報がしっかりと整理されている。	知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述が多くみられる。 深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。																																																													
B	内容をある一定程度処理、記述している。 ある程度情報が整理されている。	多少有機的な考察が見られる。 多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。																																																													
C	情報の量/質が不十分である。 情報が整理されておらず羅列になっている。	感想や意見、疑問の量/質が不十分である。																																																													
		3	2	1	0																																																										
目的	①授業の内容を聞き手に伝えられたか	授業の内容を明確に聞き手に示し、完全に聞き手に伝えることができた。	授業の内容を聞き手に示し聞き手に伝えられた部分があった	授業の内容を聞き手に示したが聞き手に伝えられなかった	授業の内容が聞き手に伝えなかった																																																										
内容	①調査 ②目的に沿っている	目的に沿った内容で十分に調べられている テーマに対して、深い理解に基づき材料が準備されている	目的に沿った内容で調べられている テーマに対して必要な知識、材料が準備されている	内容が不足している テーマに対して知識、材料の準備が不十分	内容が全く不足している																																																										
構成	①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方	十分、論理的に構成されている 導入や展開が非常に効果的、よく工夫されている 簡潔にまとめられている	論理的に構成されている まとめが不足している	論理的な構成が少し不足している 論理的なつながりが不足している	論理的な構成ができていない																																																										
生徒の活動	①対象の主體的な学び	聞き手の主體的な活動が効果的に組み入れられている	聞き手の活動は組み入れられている	一方的な知識伝達になっている																																																											
資料	①文字の大きさ ②図表の明確さ	十分に読解力ある資料である	読解力ある資料である	読解力が不足している	読解力がない																																																										
授業姿勢 パフォーマンス 進行	①視線 ②音量 ③スピード ④準備	堂々と微笑を見ながら声量も十分に適切なスピードで授業できた 十分に準備されている 台本などを見ずに進行できている	視線や声量、話すスピード共に一定のレベルに達している ひと通りの準備がうかがえる	視線、声量、話すスピードを改善する必要がある 進行の準備が不十分である	授業をする態度全体を大きく改善する必要がある																																																										
時間		時間配分が適切である 9分30秒~10分	ほぼ時間内である 9分~10分30秒	時間が少し超過している、あるいは少し短い ~9分、10分30秒~	時間が大幅に超過している あるいは大幅に短い																																																										
宿題指示	・ 5月9日の「AI について相互授業」10 分のスライドの作成と授業ができるように準備を終えておく。 ・ 5月9日の「AI について相互授業」10 分の構成と役割分担の用紙提出(授業終了までに、各班ごと 1 枚) ・ 各自学びの記録を翌日昼休みまでに提出																																																														